心に残る修学旅行のお手伝いを

北海道旅客鉄道株式会社
取締役社長　大森義弘

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様方には、平素より格別の御高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

JR北海道は会社発足以来、都市間・都市圏輸送の充実を中心としながら、御利用のお客様から信頼され、愛される交通機関をモットーとして、車両の新製、駅のリニューアル等各種の施策を着実に実現してまいりました。

最近の話題としましては昨年三月に実施したダイヤ改正から、札幌～函館間に振子式特急気動車を導入、平均到達時分を約三十分短縮するとともに、列車本数を増やして利便性を大幅に向上しました。

これにより、修学旅行につきましても「より便利に」「より利用しやすく」なりました。

今後とも安全で快適な輸送サービスを提供し、心に残る修学旅行を実現するため、その教育的意義を常に思い描きながら、輸送分野の一翼を担ってまいりますので、一層の御愛顧を賜りますようお願い申しあげます。

最後に、関係の皆様の御健勝と御多幸を祈念申しあげ、年頭のごあいさつとします。

鉄道新時代の修学旅行に向けて

東日本旅客鉄道株式会社
取締役社長　松田昌士

明けましておめでとうございます。修学旅行関係の皆様方には平素から格別の御支援を賜りまして厚く御礼申しあげます。

本年から、北陸・田沢湖両新幹線工事が本格化し、21世紀に向けた高速鉄道ネットワーク構想が現実的なものとなってまいります。

変化しつつある修学旅行形態にマッチした輸送体系を作り上げることが、私どもの使命と認識しており、そのために鉄道の強味である安全性と正確性を従来にも増して追求していく必要があると考えております。

昨年策定した「安全基本計画」を着実に遂行するとともに、技術開発の成果を取り入れてスピードアップと運行システムの近代化を図り、信頼性の高い鉄道作りを進めてまいります。

最後になりましたが、皆様方のますますの御健勝と御多幸を心よりお祈り申しあげまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

新しい日本の旅へ

東海旅客鉄道株式会社
取締役社長　須田寛

新年おめでとうございます。修学旅行関係の皆々様の平素の御愛顧を感謝申しあげます。

最近、修学旅行も含めて国内旅行客が低迷しています。国内旅行には、海外とは違った良さがあるはずであり、私共も関係団体とも協力しながら、今一度国内旅行を再認識していただく努力を傾けたいと思っています。

一昨年から進めている東西交流キャンペーンで、京都・奈良への旅をお誘いしておりますが、今年は新しい趣向で旅の御提案をしたいと思っています。特に、当社の本社のある東海地方は、日本の生産拠点として知られ、産業文化財ともいうべきものがたくさんあり、産業資料館等も数十箇所に及びます。これを訪ねる旅なども、修学旅行に新しい趣向をそえることになるでしょう。

それぞれの地域にふさわしい新しい旅の創出を目指して、今年も努力してまいります。ますますの御利用をお待ちしています。

皆様方の御健勝をお祈り申しあげて、年頭のごあいさつといたします。

心の触れ合う体験

西日本旅客鉄道株式会社
取締役社長　井手正敬

謹んで新春のお慶びを申しあげます。

修学旅行関係の皆様には、平素から格別のお引き立てを賜り厚く御礼申しあげて努力いたしているところであります。

更に国内をはじめ海外修学旅行につきましても、多様性に富んだ体験・見学等の企画、お宿の手配等、御旅行全般にわたり、お近くのT・i・Sがお手伝いをさせていただいております。

本年も、心の触れ合いを通じて感動を呼ぶ体験により、一生の記念に残る修学旅行をお世話させていただけるよう努力を続ける所存でございますので、なお一層の御愛顧を賜りますようお願い申しあげます。

最後に、関係各位の御健勝と御多幸を祈念しまして、年頭のごあいさつといたします。

瀬戸内海を渡る交流

四国旅客鉄道株式会社
取締役社長　伊東弘敦

明けましておめでとうございます。

瀬戸大橋を渡って大勢の修学旅行の皆様が本州から四国へ、また四国から本州へ研修の足を延ばされ、JR四国の列車、バスを御利用いただいて厚く御礼申しあげます。

昨年十一月からは岡山・高松と松山・高知を結ぶJR四国の特急と高速バスの交通網が完成し、本州と四国の連絡は一層便利になりました。また、四国の主要駅や東京、大阪などでワーププラザという愛称の当社の旅行代理店を展開しており、海外旅行のお手伝いを多数させていただきました。

四国の開発も進んでいますが、国宝、重文指定の人文的遺構と、瀬戸内海や四万十川に代表される自然美が、まだ多く残されています。一生の思い出を鉄道やバスの旅に刻めるように、社員一同安全、快適な運転に心掛けることを誓って、新年のごあいさつとします。

多彩な観光地に向けて快適な修学旅行を

九州旅客鉄道株式会社
取締役社長　石井幸孝

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様には平素より格別の御支援を賜り、厚く御礼申しあげます。

JR九州では、過去九回のダイヤ改正で、快適性、速達性を追求した都市間の輸送サービス改善に努めてまいりました。特に九州内の特急は、すべて新型またはリニューアル化を行った車両でお客さまに満足いただけるものと思っております。

更に本年四月のダイヤ改正では、福岡・北九州から大分方面に最新の振子型特急電車を投入、新幹線との接続時分の見直しをあわせて行い、到達時分の短縮を図ります。

九州には多彩な観光地やテーマパークが点在し、各都市は独自の歴史、文化をはぐくんでいます。このような各地に向けての特急ネットワークの充実を図るとともに、増結や臨時列車の運転など皆様の御要望におこたえできますよう努めてまいる所存です。本年もどうぞより一層の御愛顧をお願い申しあげます。

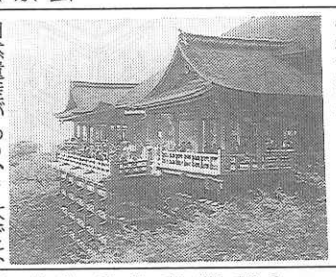
最後に皆様の御健勝と御多幸をお祈りいたします。

京都の文化財17社寺・城が世界文化遺産に

ユネスコ世界遺産委員会は、十二月十五日「古都京都の文化財」十七社寺・城を、世界文化遺産として登録することを決定した。

世界遺産には文化遺産と自然遺産があり、日本では一昨年、文化遺産として法隆寺と姫路城、自然遺産として白神山地と屋久島が登録されている。

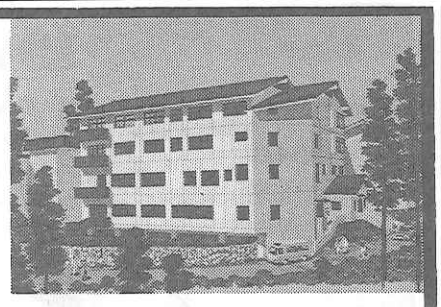
今回「古都京都の文化財」として登録されたのは、京都市内の賀茂別雷神社（上賀茂神社）、鹿苑寺（金閣寺）、賀茂御祖神社（下鴨神社）、慈照寺（銀閣寺）、二条城、清水寺、西本願寺、教王護国寺（東寺）、仁和寺、高山寺、天竜寺、竜安寺、西芳寺（苔寺）、醍醐寺、宇治市の平等院、宇治上神社、大津市の延暦寺の十七箇所。いずれも「平安～江戸時代に日本の首都として優れた文化を創造。各時代の代表的な建造物や庭園が保存され、東アジアの古都のなかでも特徴ある地域」の京都地域で、周辺の風致景観を含めた保護状況が良好なものとしている。



修学旅行生に人気の清水寺

（財）全国修学旅行研究協会は、第36回評議員会を、三月十五日(水)東京のグランドヒル市ヶ谷で開催する。

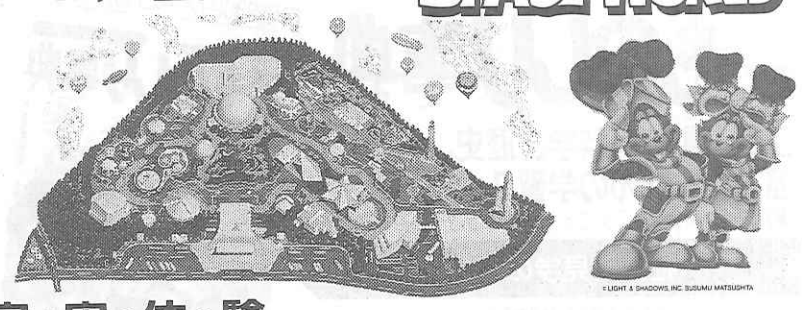
座禅体験で
〝心、リフレッシュ!!〟
清潔、安全、快適、
安心のお宿



本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人

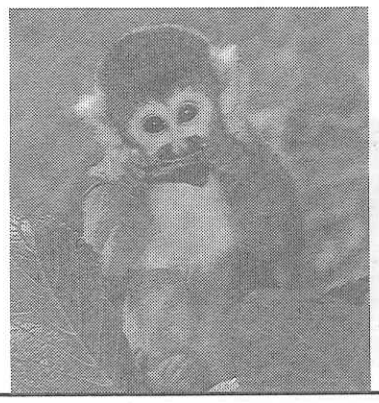
〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917
FAX　0775－79－5053

© SPACE WORLD, INC.
地球に生まれた宇宙。SPACE WORLD



宇・宙・体・験
〈スペースワールドは21世紀の校外学習環境〉
(株)スペースワールド™
インフォメーションセンター TEL093-672-3600　予約センター 0120-340020
本社　〒805 北九州市八幡東区枝光900-1

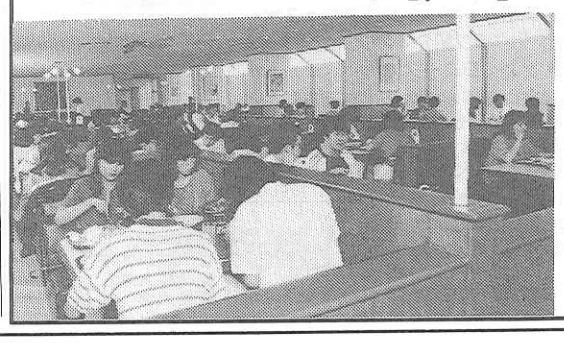
「動物たちのあったかラ・ン・ド」



●営業受付時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金（消費税含む）
高校生1,100円　中学生　800円
小学生　700円　ガイドラジオ
バス1台につき1,030円

別府あじむ草原　博物館相当施設
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（0978）48-2331㈹
FAX（0978）48-2330

――修学旅行の楽しいお食事――
箱根彫刻の森美術館内
レストランコンポート



◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)2221（予約センター）

クオリティ ミニガイド

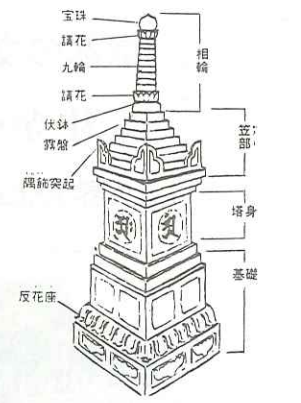
≪石造物いろいろ≫(5)
石塔②

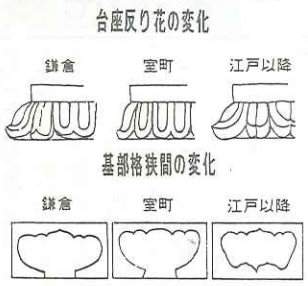
宝篋（ほうきょう）印塔は、宝篋印陀羅尼経を納めるため金銅で造られたのが始まりで、我が国に伝えられたのは応永年間（九六一～九六三）のことといわれ、そのころにはこの塔は、銅塔・金泥塔・籾塔などと呼ばれており、宝篋印塔の名がつけられたのは鎌倉時代からのことである。

塔身部で密教の五智如来を表す。すなわち、塔身そのものを大日如来とし、四面に梵字で阿閦（あしゅく）＝東・無量寿＝西・不空成就＝北・宝生＝南の四仏を表している。

造形的に整った形に完成されるのはやはり鎌倉時代であり、主として武士の墓塔や供養塔として造られていることが多い。

鎌倉大町の伝畠山重保（重忠の嫡男）供養塔や、鎌倉長谷の上杉憲方（山内上杉の祖）逆修塔などが代表例である。逆修塔とは生前に造った墓塔のことである。





△訂正▽第395号「岐阜県支部長に福井氏」の記事中、経歴を次の通り訂正します。

岐阜大学学芸学部卒。愛知県、岐阜県の公立小・中学校教諭、岐阜県学校生活協同組合・㈶岐阜県教育公務員弘済会常務理事を歴任し、現在同専務理事。

自主見学・五日制・マルチメディア

「修学旅行における生徒の自主性」

第11回全国修学旅行研究大会（10月28日・宇都宮市）講演要旨（下）

文部省初等中等教育局
中学校課課長補佐　大槻達也氏

五、修学旅行のもう一つの側面

修学旅行もう一つの側面は、集団生活の在り方や公衆道徳などについて、望ましい体験を積むことができる活動を行うことである。寝食を共にする体験を通して、集団生活のルール、公衆道徳を身につけるとともに、なによりも人間のきずなを深めるよい機会になる。いわゆる「まくら投げ」の思い出もこういった場面から生まれてくる。

修学旅行は集団で行動するので、集団の決まり、規則、広くは公衆道徳にもつながるということを、常に忘れてはならない。学校で身に付けた事柄を実践する場、あるいは知識を応用する場ということも念頭に置かなければいけない。しかし、このようなことが極端になると、集団行動である修学旅行と、個性を重視する現在の教育が果たして両立するのか。集団行動と個性重視をどのような関係におくのかということが問題になる。しかし、個性重視といっても自分の考えで、自分の意見通りのことをやってよいということではない。集団行動といっても全員が全く同じ行動をすることにもならない。集団と個人が対立的になることではなく、そこに調和を見出していくことが問題になる。

事前の準備の段階、旅行の実際の場面を通して、一つ一つの細かい事柄を積み上げながら、集団と個人ということの調和を身に付けていく。そこに準備段階も含めた修学旅行の一つの大きな意義がある。例えば、自主見学の場合でも仲間と見学の場所、コースを選ぶ必要があるが、それぞれの意見があると自分の意見を通したいが他の人の意見も尊重しなければならない。このような心の葛藤、対人関係の葛藤を通して集団と個の調和ということや、あるいは社会性といったことを身に付けていく。

六、学習指導要領の四つのポイントと修学旅行

学習指導要領の四つのポイントは、第一は「心豊かな人間の育成」、第二は「基礎基本の重視と個性を生かす教育の充実」、第三は「自己教育力の育成」、第四が「文化と伝統の尊重と国際理解の推進」である。

修学旅行は教育課程の一環であるので、各教科や道徳の時間と同様この四つの要請にこたえていく必要がある。別の言い方をすれば、いわゆる「新しい学力観」という観点から修学旅行をとらえ直してみる必要がある。この「新しい学力観」は、新学習指導要領の目指す学力観として登場してきた。この背景には、「これからの時代や社会に生きる人間にとっては、主体的に考え、判断し、表現し、行動できる資質や能力」が特に必要とされるということがある。言い換えれば、従来の学力に関する考え方である「知識や技能を中心とする考え方」から「主体的に考え、判断したり、表現したり、行動したりできる資質や能力、自己実現を図るために必要とされる積極的、能動的な態度、他人では代替できない個性」、そういったものを社会に生かしていく能力などを学力の中心として考え、その育成に努める考え方への転換が必要となった。このような観点から修学旅行を考えてみると、生徒の自主性、あるいは実践的な活動の助長を目指した指導を行うということが重要になってくる。

七、修学旅行の自主見学

最近の修学旅行の特徴の一つは、自主見学が多く取り入れられていることである。以前は学年・学校はまとまって同一行動をするのが当然と考えられていた。しかし、生徒の興味関心を生かし、意欲的、主体的に見学させたいというねらいから、少数の人数の班別での見学が行われるようになった。現在では高等学校で60％、中学校で80％の学校において自主見学が実施されているようだ。

八、学校週五日制と修学旅行

学校週五日制と修学旅行という観点から考えると、学校の月二回の五日制を実施するときの対応の問題を施するために、一つは行事の精選ということを考えなければいけないということがある。ここで問題なのはもちろん、行事を削減するということでなく精選ということである。単に数字合わせをするのではなく、本当に必要な行事なのか、ほかのことで代替が可能ではないかということを、改めて問い直していただくよい機会ではないかと思う。これは個人的見解だが、これまで学校が何もかも引き受けてきた歴史がある。それをもう一度原点に返って整理していく必要があると考えている。

九、海外修学旅行

学習指導要領の改訂のポイントの一つに、国際化ということがある。これを受けて海外への修学旅行が最近増えている。先日、数年前の高知学芸高校にかかる裁判の判決があった。修学旅行を実施する場合、安全性の確保ということがまず第一に考えられなければならない。日本を一歩出ると、治安の問題、気候、衛生上の問題等々、何か一旦事起きたときの対応の問題をいう人間が出来てくる。コンピュータをひとつの道具として使いこなす能力が求められる。

十一、これからの教育

これからの教育においては、誰かがどこかでやっていることをそのままねしてやるということでは不十分である。それぞれの学校・学級・個人が、それぞれの実情に応じて創意工夫を発揮していかなければならない。このことこそ、これからの教育に求められているものである。

修学旅行についても、同様に創意工夫を求められているということが言えるのではないか。（おわり）

十分に検討しておかなければならない。

十、マルチメディアと修学旅行

マルチメディアという言葉が色々言われている。郵政省、通産省、文部省でもマルチメディアについての色々な施策を発表している。その中にバーシャルリアリティーという言葉がある。日本語に強いて訳すと、仮想実現あるいは仮想体験といったことになる。これはコンピュータの中で立体的にマルチメディアを利用し、あたかも経験しているかのような体験ができるということである。例えば、ここに居ながらにして、どこかに旅行に行っているというようなこともあるわけである。

それがもし本当にそうであれば、修学旅行はいらないという極論も出てくるかも知れない。しかし、これはちょっと違う、おかしいと思わざるを得ない。「行っていないのに体験をしている」ということは、たしかにそれに近いものはあると思うが、もちろん、コンピュータの中の話であるから、私たち人間というものの周囲を取り巻く森羅万象をすべてその中に入れることは出来ない。更に言えば、人間というものは、実体験なくして仮想体験ということがあり得るのかどうかを考えてみる必要があろうかと思う。ある一つの似たような体験を持っているからこそ、コンピュータという抽象的なもので出てきた画面での疑似体験というものが、人に意味を持ってくるのだと思う。このようなことを考えずに、安易にマルチメディアの話に乗っていくのはいかがなものか。

何かを調べようとするとき、コンピュータのソフトがあって、うまく使えるというものも出ているやに聞いている。それだけに頼ってよいのだろうか。マルチメディアということで一般に言われているいろいろな情報がデーターベース化され、キーボードを押せば世界中どこにでもアクセスできて、いろいろな情報が得られるということがある。これは学者、研究者にとっては、研究の効率という点では意味があることだと思うが、それを子供のうちからやっていたらどうなるかということも考える必要がある。物を調べる、どこに何がある、時刻表で調べる、図書館で調べる等、どこへ行けばいいということを知らないうちにコンピュータで調べさせることだけに終始すると、コンピュータがなければ何もできないという人間が出来てくる。コンピュータをひとつの道具として使いこなす能力が求められる。

首都圏発／パパと一緒に学ぼう
かくかくものしり事典
定価880円／AB判／128頁
工場、動物、科学、歴史、人物…
盛りだくさんの学習スポットを紹介
●アミューズメントファクトリーへようこそ　などなど
社会科見学の教材に
人が好き。地球が好き。旅がスキ。
近畿日本ツーリスト出版部
〒101 東京都千代田区神田松永町19-2
TEL 03-3257-0779（営業直通）FAX 03-3258-3216

とっておきの思い出に。
学んで、遊んで、楽しめる。注目のアミューズメント・リゾート、鈴鹿サーキット。広大な敷地のなかには多機能型の宿泊施設、各種スポーツ施設、最新設備の整った研修センターや交通教育センターなど、多彩な施設を揃えています。趣向を凝らした修学旅行など、目的・用途・人数などに合わせて、幅広くご利用ください。
体験学習のご案内
●エンジン教室●本田技研鈴鹿製作所工場見学●モータースポーツ観戦●二輪交通安全教室●レーシングコースバス走行●ホンダコレクションホール見学●テーブルマナー他
SUZUKA CIRCUIT
お問い合わせは
●鈴鹿サーキット/三重営業所☎0593(78)1111
●東京営業所☎03(3271)5888
●大阪営業所☎06(372)1526
●名古屋営業所☎052(571)7176

京都の私立大学　キャンパス体験ツアー
君も　京都の大学を体験してみないか！
内容●ミニ講義●在学生によるキャンパスライフ紹介●キャンパス見学●スポーツ・文化クラブ紹介●オプションコース●大学めぐりコース
■参加対象：高等学校の修学旅行を対象としていますが、その他の方でも可能です。
■参加料金：無料
（参加者には各大学グッズをプレゼント）
■お申し込み・お問い合わせは
「大学のまち京都」推進協議会
事務局＝京都市観光部宣伝課
京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL.075-752-0215　FAX.075-751-0994
参加大学
大谷大学
京都外国語大学
京都学園大学
京都産業大学
京都女子大学
京都精華大学
京都造形芸術大学
京都橘女子大学
光華女子大学
同志社大学
同志社女子大学
ノートルダム女子大学
花園大学
佛教大学
明治鍼灸大学
立命館大学
龍谷大学
キャンパス見学

修学旅行の可能性を求めて
よりよい修学旅行づくりに
努力しています。
豊かな感動のステージへ
東急観光